

YAYOI

楽練 らくねり RAKU NERI

取扱説明書



YAYOI 化学工業株式会社

○本機をご使用になる前に、下記の梱包内容がすべて揃っていることをご確認ください。

楽練 らくねり RAKU NERI

商品番号：407-000



このたびは、パテ攪拌機「楽練（らくねり）」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用に際しては、事前にこの取扱説明書をよく読みいただき、内容を十分にご理解頂いた上でご使用ください。

なお、この取扱説明書は紛失されないよう、常にお手元において管理されますようお願いいたします。

目 次

1. パーツリスト	3
2. 取扱注意事項	4
3. ご使用方法	
装置の準備	5
パネル操作	6, 7
混合作業	8
混合後の作業	9, 10
お手入れ	11
4. 故障かな？と思ったら	12
5. 仕様	13
6. 保証	14

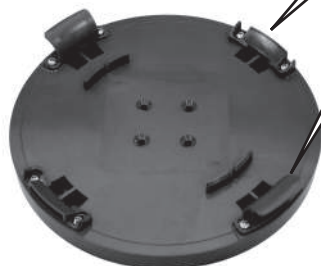
1. パーツリスト

407-001 ブレードセット

※ヘラ板は付属しません



407-005
ヘラ板



407-002
ターンテーブルセット



407-004
「楽練」専用バケツ

407-003 カプラーセット



407-018 ヘラ板軸プッシュ 1



407-020 ボールプランジャM5H



404-959 皿小ネジ M3×10



407-019 ヘラ板軸プッシュ 2



407-021 ベアリング6800

※2 ケット



407-008

バケツ固定ガイド



407-007

バケツ止具



407-017

ゴム足（楽練）



407-009

水濡れ防止キャップ（楽練）



407-015

表示シート（楽練）



400-318 電源ケーブル

※変換アダプタ (409-799) 付属



407-006

取手アタッチメント

2. 取扱注意事項

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人身事故につながる恐れがある内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、機械の破損・故障につながる恐れがある内容を示しています。
-  **メモ** これを知っておくと便利である内容を示しています。

警告

- 運搬・設置の際は、両手で下力バーの底部を持ってください。
- 子供の手の届かないところで保管・運転してください。
- 運転中はバケツやターンテーブル、ヘラ板に手を触れないでください。
- 本製品には AC100V 以外の電源を接続しないでください。
- 傷んだ状態の電源プラグは使用しないでください。
- 本機はパテ混合専用です。溶剤等の混合はしないでください。
- 引火物がある場所でのご使用はお避け下さい。
- 攪拌時は、バケツがターンテーブルに確実にロックされていることを確認してください。また、専用バケツにパテ小袋 1 袋 (3.2 ~ 4.0kg) 以上の材料を詰め込んだり、極端に混水量を減らして運転しないでください。運転中にバケツが外れてけがをしたり、機械が破損する恐れがあります。

注意

- 本体やブレードに、落とす、ぶつける等の極端な衝撃を与えないで下さい。
- 夏場の車内等、高温多湿な環境での保管は避けてください。
- 本体に水やパテをかけないでください。誤ってかけた場合は、すぐに電源プラグを抜き、固く絞った雑巾などで拭き取ってください。
- 粉末状硬化型のパテは、水と混合後に所定の時間が経過すると硬化が始まります。機械に大きな負荷がかかりますので、所定の時間以上は攪拌しないでください。
- 使用後は必ずヘラ板や取手アタッチメントを洗浄してください。パテ粉末等の固形物が付着していると、ヘラ板の回転不良やアタッチメントの接続不良の原因となります。

3. ご使用方法

【装置の準備】

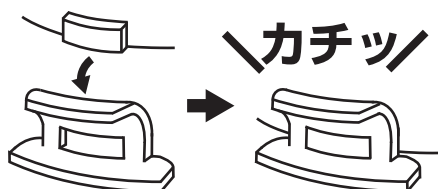
1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認します。
2. 「楽練」専用バケツをターンテーブルにセットします。



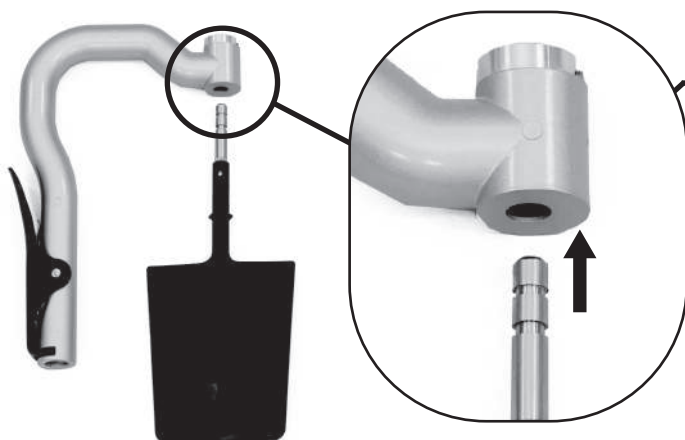
専用バケツのツメを固定具に合わせ、カチッと音がするまではめこみます。

⚠ 警告

専用バケツのツメが両端共にしっかりと固定具に収まっていることを必ず確認してください。正しくセットできていないと、運転中にバケツが外れ破損の恐れがあります。なお、バケツや固定具などは消耗品ですので、ご使用による劣化が見られる場合は交換を行ってください。



ブレード軸の先端部に、ヘラ板のシャフト部分を挿入します。



カチッと音がする位置まで差し込みます。

3. 電源プラグを AC100V コンセントに差し込んでください。

【パネル操作】

プログラム選択

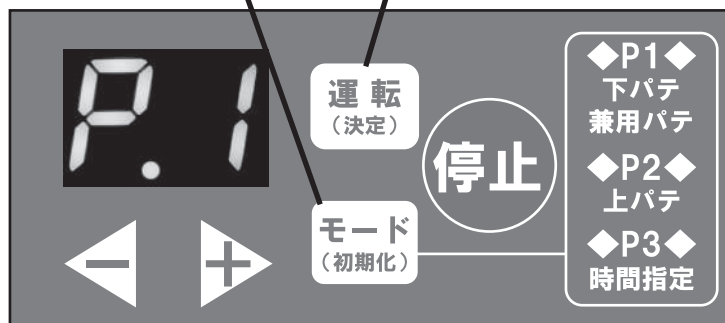
P1：下パテ・兼用パテモードです。5 分間だけ攪拌します。

P2：上パテモードです。7 分間だけ攪拌します。

P3：時間指定モードです。お好みの時間を分単位で指定できます。

P1⇒P2⇒P3⇒P1 と
切り替わります。

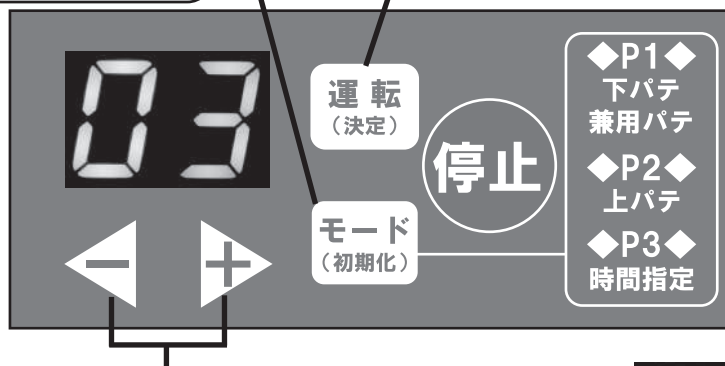
P1・P2：運転が開始されます。
P3：攪拌時間選択に移ります。



攪拌時間選択

P1 に切り替わります。
(プログラム選択へ戻る)

運転が開始されます。



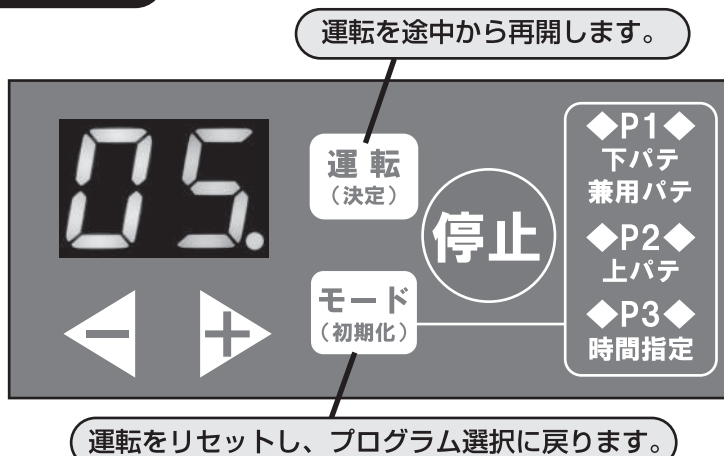
攪拌時間を増減できます。
0 にすると右のような表示となり、連続運転できます。



運転中の操作



一時停止中の操作



メモ

実際の仕上がりはパテの種類、混水量、使用環境等によって大きく変わります。
P1・P2 運転で、パテの粉や粒が残る場合は、必要に応じて P3 の時間設定
モードに変更してください。

メモ

運転開始直後は、バケツ内の水とパテをなじませるために低速で運転し、徐々に
加速します。一時停止後に運転を再開する際は、一時停止直前の速度から運転が
始まります。

【混合作業】

1. 所定量の水とパテを用意し、水⇒パテの順で専用バケツに入れます。
2. ヘラ板を挿入したブレード軸を、引手を握りながら、以下の写真に示す溝に引手下部の出っ張りが引っ掛かるように差し込みます。



△ 注意

水とパテを先に投入してから、ブレードを専用バケツに入れてください。
ブレード軸摺動部に材料粉末が付着すると、ヘラ板が回転しなくなる恐れがあります。

3. 本書 P6・P7 を参考に、運転を開始させます。
運転を開始させると、約 15 秒間低速で運転した後、通常の数
まで加速します。



パテ自身が持つ粘性により、ヘラ板が
自然に回転することで練り始めます。

4. タイマーの数字が減少していき、0 になると自動で停止します。

【混合後の作業】

混合が完了したら、以下の操作を行うことで、材料を取り出す道具としてヘラ板をそのままご活用いただけます。

△ 注意

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. ブレード軸を、引手を握りながら持ち上げます。

引手の下部にある出っ張りを、以下の写真の溝に差し替えます。



2. ブレード軸を引き抜き、ヘラ板を脱離させます。



ブレード軸が回転できるようになります。

3. 下カバーに収納されている取手アタッチメントを取り出します。



取手アタッチメントの先端にあるツマミを引きながら取り出します。

4. 取手アタッチメントをヘラ板に取り付けます。



取手アタッチメントの先端にあるツマミを引きながら挿入します。
溝に合わせてからツマミを離すとロックされます。



【お手入れ】

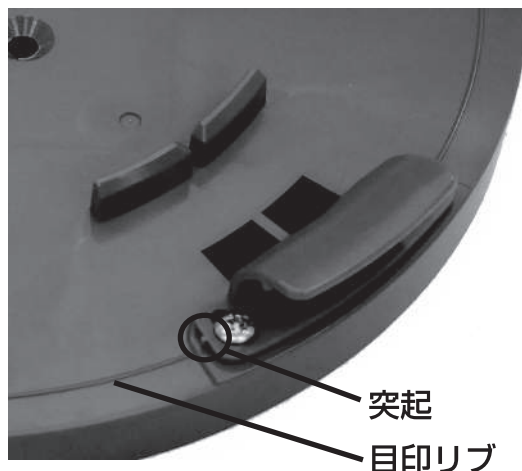
1. 作業が終わりましたら、機械が停止したことを確認し、電源プラグをコンセントに接続している場合は抜いてください。
2. バケツロックのツマミの片側を外側に押し、専用バケツのツメを分離させます。
3. 専用バケツの取手を両手で持ち、機械本体から分離させます。
4. ヘラ板、取手アタッチメント、専用バケツに付着した材料を水でよく洗い落としてください。

△ 注意

ご使用後は、材料が硬化する前に、必ずヘラ板と取手アタッチメントを洗浄してください。硬化した材料がシャフト部分や溝部に残っていると、正常にヘラ板が回転しなくなったり、アタッチメントをヘラ板にロックできなくなったりする可能性があります。

メモ

バケツ固定具は消耗部品ですので、劣化や破損したりした場合は、部品の交換を行ってください。バケツ固定具は、取り付け時にターンテーブルに対する位置を微調整できるようにしております。バケツ固定具のサイドにある突起が、ターンテーブルの目印リブの円周に沿う位置になるように配置してビス止めしてください。専用バケツのロックが緩かったり、逆にきつすぎたりする場合は適正な位置に調整してください（下図参照）。



4. 故障かな？と思ったら

症 状

推 定 原 因 ・ 対 処 方 法

電源が
付かない



- ・電源プラグが外れている可能性があります。
正しく接続されているか確認してください。
また、延長コードの断線等がないか確認してください。
- ・電源電圧が低すぎたり、停電している可能性があります。
現場電源を確認し、異常がある場合は復旧してください。

ヘラ板が
回らない



- ・ブレード軸の摺動部が汚れている可能性があります。
硬化した材料等が付着している場合は取り除いてください。
- ・摺動部のパーツが損耗している可能性があります。
ベアリングなどの損傷が激しい場合は交換してください。
- ・材料粘度が低すぎたり、少なすぎる可能性があります。
材料を足すなどして粘度や量を調整してください。
- ・まれに、材料がひと塊になってヘラ板にまとわりつき、
回転不良を起こすことがあります。
一旦機械を停止し、パテベラなどで塊を崩してください。

液晶画面に
「E1」と出て
停止した



- ・バケツがターンテーブルから外れるなどして、装置が
回転の乱れを検知した場合に表示します。
バケツ止具やバケツのジョイント部、ターンテーブルに
破損や摩耗が見られる場合は交換してください。
また、運転中はバケツに触れないでください。

液晶画面に
「E2」と出て
停止した



- ・モーターが過負荷を検知するなどして、装置の運転が
意図せず止まった場合に表示します。
材料に対する混水比が少なすぎたり、投入量が多すぎる
場合は、混水量を増やしたり、材料を減らしてください。
また、材料が硬化している場合は取り除いてください。

上記を確認し問題が解消されない場合は、
ご購入頂いた販売代理店を通じて当社までお問い合わせください。

5. 仕様

電源	AC100V 50/60Hz
ターンテーブル回転数	攪拌初動 15 秒：約 15rpm 通常運転時：約 60rpm
バケツ容量	約 9.3 リットル
本体寸法	巾 342× 高 445× 奥行 243mm
質量	約 6.5 kg
出力	95 W
消費電力	300 W

※製品内容・仕様は、改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

6. 保証

本製品の保証期間はご購入後 6 か月までです。保証期間内に本書の注意書きに従って正常な状態で使用していて故障した場合には、無償修理いたします。

保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。

- 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
- 本書に従わず故障および損傷を与えた場合
- 天災地変による故障および損傷
- 消耗品の交換、補充
- 通常の使用による損耗あるいは経年劣化により発生する現象（樹脂部品、塗装面、メッキ面の自然退色等）
- 性能上の影響がないと一般的に認められる現象（音、振動、グリースの飛散など）

修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

本保証は日本国内で販売し、使用された場合においてのみ適応いたします。



本 社 〒939 - 1272 富山県高岡市下麻生4649 TEL(0766)36-2800(代)

フリーダイヤル：0120-303-841

(2025.6)